



第4号
(学年だより)

水の気持ちよさを感じて…

蒸し暑い日が続いています。子どもたちは、タコプールに入ったり、水遊びをしたりして、水に触れる心地よさを感じながら楽しんでます。

プールでは、ワニやラッコになって泳ぐ姿や、少しだけでも水に顔をつけてみようとして挑戦する姿が見られます。友達が潜ったりバタ足をしたりする姿から刺激を受けて、自分もしてみようとする姿もあります。ビート板を使って足を伸ばし、「タクシー」と言って先生に引っ張ってもらって浮かんだり、クラゲのように自分で体を浮かせたりすることを面白がる様子もありました。

水遊びでは、水鉄砲を空に向かって発射したり、といの両側から友達と水をかけて、ホッケーのように競って遊んだりしています。じょうごとホースでの水路作りでは、「水運んでくる!」「こっちも繋げない?」と友達と一緒にすることを楽しんでいます。

砂場では、4、5人で集まって穴を掘り、「温泉を作ろう!」「川にしよう」とイメージを伝え合って取り組む様子がありました。どうしたら水が流れやすいのかを考えて、坂になるように深く掘ったり、たくさん水を流したりして考え合う姿が見られました。水が勢いよく流れると、楽しさや達成感を味わっていました。

暑いこの時期に、たくさん水に触れ、心地よさや楽しさを味わうだけでなく、考えたことを様々に試す中で、水の面白さや不思議さを感じたり、水の性質に気付いたりする体験ができるようにしたいと思います。

水に触れる気持ちよさを感じる。
1 健康な心と体
10 豊かな感性と表現



友達と一緒にする楽しさを感じる。
3 協同性



流すよ?



水の性質に気付いたり、自分なりに考えて試したりする。
6 思考力の芽生え

友達に自分の思いを伝え、相手の思いを聞いて、返事をする。
9 言葉による伝え合い

僕にもやらせて!



いいよ!

子どもたちの思考力は、周りのものに好奇心をもって自ら関わり、様々なことに気付いたり、考えたりする中で育まれていきます。幼児期の思考力の芽生えは、小学校以降の学習に興味や関心をもって主体的に関わることにつながります。生活や遊びの中で、子どもたちの気付きや好奇心を大切にしていきたいですね。

七夕に向けて

七夕の由来や意味を知り、願いを込めながら、七夕飾りを作りました。年長組は、“扇面つなぎ” “貝つなぎ” “切り紙の星” など、指先の細かい動きが必要な飾りにも挑戦し、折る・切る・貼るなど、一つ一つの工程に丁寧に取り組みました。作り方が分からないときに幼児同士で教え合う姿も見られました。

7月7日には4歳児と一緒に七夕集会を行い、七夕の由来のパネルシアターを見たり、みんなで歌を歌ったりしました。ご家庭で短冊に願い事を書いていただき、ありがとうございました。子どもたちやご家族の素敵な願い事が叶うといいですね。

丁寧に、思いをもって取り組む。

2 自立心

10 豊かな感性と表現



“結ぶ”という経験を

短冊や七夕飾りを笹に結ぶ際、こよりを使いました。紐状のものを使って結びつけるということは、日常生活の中で経験する頻度は多くないためか、苦戦する子もいました。いくつもの七夕飾りを笹に結ぶことで、少しずつ自分でできるようになっていく姿が見られました。

園では、遊びの中でリボン結びをしたり、なわとびを結んだりする機会を捉え、経験を重ねていきます。

“泡”研究所からシャボン玉研究所へ

泡作りを楽しんでいた子どもたちに、シャボン玉液が自分たちで作れることを知らせると、面白がって作り始めました。『シャボン玉研究所』では、モールやうちわの骨組みなど、様々な道具を使ってどんなシャボン玉が作れるか試しています。

風が吹いたときに偶然大きなシャボン玉ができたり、「ゆっくり（息を）吹いた方が上手くいく」などの発見があったりして、繰り返し遊ぶ中で自分なりのコツを見つけ、言葉にし、周りの友達にも広がっていく様子があります。興味をもったことにじっくり向きあい、考えながら遊んだ満足感は、「明日もやりたい!」「椅子と机を準備しよう」と自分から遊ぶ意欲にもつながっています。



自分なりに考えたことを試す。

6 思考力の芽生え

洗剤・洗濯のり・水を混ぜて
『シャボン玉液』作り

大きくなってきた!



☆暑中見舞いのはがきについて☆

夏季休業期間中（8月8日以降）に、こども園から暑中見舞いをお送りします。帰省されている方などもいらっしゃると思いますが、無理のない範囲でお返事を頂けるとうれしいです。手紙をもらったら返事を書くことや、季節のご挨拶を知ることはお子さんにとって大切な経験になります。

おたんじょうび おめでとう

